

令和5年度 福岡市薬物乱用防止対策推進協議会 次 第

日時：令和5年12月21日（木）
16：00～17：30
場所：あいろん 第2研修室

1 開 会

2 委員紹介

3 議 事

(1) 会長の互選について

(2) 令和4年度活動報告及び令和5年度活動方針について

(3) 最近の薬物乱用の情勢について
(福岡県警本部薬物銃器対策課)

4 その他

5 閉 会

資料一覧	
(1)	令和5年度福岡市薬物乱用防止対策推進協議会 次第(本紙)
(2)	福岡市薬物乱用防止対策推進協議会設置要綱
(3)	福岡市薬物乱用防止対策推進協議会委員等名簿
(4)	福岡市薬物乱用防止対策推進協議会座席表
(5)	令和5年度福岡市薬物乱用防止対策推進協議会 薬物乱用防止対策活動 資料

福岡市薬物乱用防止対策推進協議会設置要綱

(設置目的)

第1条 薬物乱用問題について、早期の予防教育や地域での啓発指導の充実を図り、総合的かつ効果的な防止対策を推進するため、関係機関相互の緊密な連携及び啓発活動を目的とし、福岡市薬物乱用防止対策推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(構成)

第2条 協議会の構成は次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、委員、幹事
- (2) 会長は委員の互選により定める。
- (3) 副会長は会長の指名により定めるものとし、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- (4) 委員は関係機関の長又は機関の長が適当と認めた職にある者を充てる。
- (5) 幹事は関係機関等の職員を充てる。

(任期)

第3条 委員及び幹事（以下「委員等」という。）の任期は2年とする。ただし、任期中であっても本来の職を離れたときは委員等の職を失い、本来の職の後任のものが委員等の職を引き継ぐ。

- 2 補欠及び増員により選任された委員等の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 委員等の再任は妨げない。
- 4 委員等は任期終了後であっても次期改選までは委員等の職を務める。

(会議)

第4条 会議は、協議会及び幹事会とする。

- 2 協議会は、必要に応じて会長が召集し、会長が議長を務める。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、協議会に関係者の出席を求め、その意見または説明を聞くことができる。

(活動内容)

第5条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 薬物乱用防止対策に関する総合的な計画の検討
- (2) 各関係機関相互の情報交換
- (3) 地域住民や他の関係機関への啓発・広報活動

(事務局)

第6条 事務局は福岡市保健医療局健康医療部地域医療課に置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会に必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成12年8月17日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年3月7日から施行する。

令和5年度福岡市薬物乱用防止対策推進協議会 委員等名簿

	関係機関等	役職等	氏名
委員	福岡市薬剤師会	会長	木原 太郎
"	福岡大学	名誉教授	藤原 道弘
"	福岡市医師会	常任理事 (小児科医)	植山 奈実
"	福岡市医師会	常任理事	倉光 かすみ
"	福岡市薬剤師会	副会長	高木 淳一
"	福岡県警察本部生活安全部少年課	課長	大江 孝宏
"	福岡県警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課	課長	多良木 伸一
"	福岡市保護司会連絡協議会	会長	芹野 正通
"	福岡市青少年育成連絡会	会長	堤田 寛
"	福岡市子ども会育成連合会	副会長	吉田 直信
"	福岡市PTA協議会	副会長	原 裕一郎
"	福岡市民生委員児童委員協議会	副会長	岡部 敏治
"	福岡市衛生連合会	会長	齊藤 桂子
"	西南学院大学学生支援部学生課	課長	渡辺 清仁
"	第一薬科大学	副学長	小松 生明
"	福岡市こども未来局	理事	袈裟丸 政憲
"	福岡市教育委員会	教育次長	福田 大二郎
"	福岡市区長会	早良区長	満生 美保
"	福岡市市民局	理事	平田 謙悟
"	福岡市保健医療局	理事	石井 美栄
幹事	福岡市薬剤師会	常務理事	吉村 宏
"	福岡県警察本部生活安全部少年課	課長補佐	渡辺 智子
"	福岡県警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課	課長補佐	佐田 剛
"	福岡保護観察所処遇部門	統括保護 観察官	栗野 美穂
"	福岡市こども未来局こども部こども健全育成課	課長	香月 千恵
"	福岡市こども未来局こども総合相談センター連携支援担当	課長	久保 健二
"	福岡市教育委員会教育支援部健康教育課	課長	松吉 泰直
"	福岡市教育委員会指導部中学校教育課	課長	永野 主税
"	区青少年担当代表(博多区総務部企画振興課)	課長	島野 俊司
"	福岡市市民局生活安全部防犯・交通安全課	課長	中村 圭
"	福岡市保健医療局健康医療部保健予防課	課長	江野 功太郎
"	福岡市保健医療局健康医療部精神保健福祉センター	副所長	吉川 賢次
"	福岡市保健医療局健康医療部地域医療課	課長	福原 敏江

(事務局)福岡市保健医療局保健医療部地域医療課

福岡市薬物乱用防止対策推進協議会座席表

令和5年12月21日(木) 16:00~17:30
あいれふ 第2研修室

	福岡市薬剤師会 キハラ 委 員 木 原 委 員	福岡大学 フジワラ 委 員 藤 原 委 員	
	○	○	
福岡市薬剤師会 タカキ 委 員 高 木 委 員	○	○	福岡市保護司会連絡協議会 セリノ 委 員 芹 野 委 員
福岡県警察本部 少年健全育成室課長補佐 ワタナベ トモコ 渡辺 智子氏 (代理出席)	○	○	福岡市子ども会育成連合会 ヨシダ 委 員 吉 田 委 員
福岡県警察本部 薬物銃器対策課指導係長 カワモト 氏 (代理出席)	○	○	福岡市PTA協議会 ハラ 委 員 原 委 員
福岡市青少年育成連絡会 ツツミダ 委 員 堤 田 委 員	○	○	福岡民生委員児童委員協議会 オカベ 委 員 岡 部 委 員
西南学院大学 ワタナベ キョヒト 委 員 渡辺 清 仁 委 員	○	○	福岡市衛生連合会 サイトウ 委 員 齊 藤 委 員
福岡市区長会(早良区長) マンショウ 委 員 満 生 委 員	○	○	第一薬科大学 コマツ 委 員 小 松 委 員
福岡市子ども未来局 子ども総合相談センター 連携支援担当課長 クボ 氏 (代理出席)	○	○	福岡市教育委員会教育次長 フクダ 委 員 福 田 委 員
		○	福岡市保健医療局理事 イシイ 委 員 石 井 委 員
事務局			
随行者席			

令和 5 年度福岡市薬物乱用防止対策推進協議会
薬物乱用防止対策活動 資料

資料目次

令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画

関係機関等名称	該当ページ
(1) 福岡県警察本部	
①生活安全部少年課	1～2
②暴力団対策部薬物銃器対策課	3～4
(2) 福岡市薬剤師会	5～8
(3) 福岡保護観察所	9～10
(4) 福岡市関係各局	
①こども未来局こども総合相談センター	11～12
②こども未来局こども健全育成課	13～14
③各区企画振興課等	15～18
④教育委員会中学校教育課	19～20
⑤市民局防犯・交通安全課	21～22
⑥各区保健福祉センター健康課	23～24
⑦保健医療局精神保健福祉センター	25～26
⑧保健医療局地域医療課	27～28

令和4年度活動報告

所属	福岡県警察本部生活安全部少年課		担当者	渡辺、山崎		電話番号	092-641-4141		内線	(3076)	
全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中・高等学校等における薬物乱用教室(非行防止教室を含む)の内容を大麻乱用防止に重点指向し、大麻が違法かつ精神病等を引き起こす危険性の高いものであること等についての指導・教育を実施した。 ○ 県薬務課と協働したインターネットやSNSによる動画配信等の広報啓発活動を実施した。 ○ 福岡市の大麻乱用少年の検挙人員は、令和4年中22人(前年比-10人)と減少しているが、以前として高水準で推移している。 										
次年度改善事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度も引き続き大麻乱用防止に重点を置いた薬物乱用防止教室を小・中・高校生を中心に開催していく。 ○ SNSや動画配信アプリ(Youtube)、街頭ビジョンを活用した広報啓発活動を推進していく。 ○ 県薬務課と協働し、引き続き大麻再乱用防止プログラム(F-CAN)を推進していく。 										
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報啓発活動の対象者として、小・中・高校生、有職・無職少年、一般市民等 ○ 取締対象者として、薬物乱用少年並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等した者(福祉犯被疑者) ○ 立ち直り支援対象者として薬物依存等の問題を抱える少年とその保護者 										
年間活動報告											
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価		
			種別	人数			共催	協力			
令和4年度	薬物乱用防止教育	福岡市内	小学校	583人(8回)	福岡少年サポートセンター ・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員	パワーポイント		福岡市教育委員会	○令和4年度中 27回(前年比-9回)		
			中学校	4880人(12回)		リーフレット					
			高校	2881人(7回)		啓発DVD					
			専門学校・大学								
令和4年度	インターネット、SNS等を活用した広報啓発活動		動画配信(Youtube)		少年課		県薬務課				
			県警HP								
令和4年中	薬物乱用少年等の検挙補導	福岡市内	シンナー乱用少年	0人	警察署			○前年比 シンナー乱用少年 ±0人 覚醒剤乱用少年 -3人 大麻乱用少年 +7人			
			覚醒剤乱用少年	4人							
			大麻乱用少年	22人							
令和4年度	少年相談の受理 立ち直り支援活動	福岡市内	シンナー乱用関係	0人	福岡少年サポートセンター ・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員		県薬務課	保護観察所	○前年比 -1人		
			覚せい剤乱用関係	0人							
			大麻乱用関係	1人							
			危険ドラッグ乱用関係	0人							

令和5年度活動計画

所属	福岡県警察本部生活安全部少年課		担当者	渡辺、山崎	電話番号	092-641-4141	内線	(3076)	
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大麻乱用防止に重点を置いた薬物乱用防止教育及び広報啓発活動の推進 ○ 薬物乱用少年等の検挙・補導活動 ○ 薬物乱用少年に対する立ち直り支援活動 								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中・高校生を対象とした薬物乱用防止教室の開催 ○ SNSや動画配信アプリ(YouTube)、街頭ビジョン、報道機関等を利用した広報啓発活動 ○ 薬物乱用少年の検挙・補導活動並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等する者(福祉犯被疑者)の取締り ○ 薬物依存等の問題を抱える少年に対する相談受理及び他機関と連携した立ち直り支援活動(F-CANを活用) 								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報啓発活動の対象者として、小・中・高校生、有職・無職少年、一般市民等 ○ 取締り対象者として、薬物乱用少年並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等した者(福祉犯被疑者) ○ 立ち直り支援対象者として薬物依存等の問題を抱える少年とその保護者 								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
令和5年度	薬物乱用防止教育	福岡市内	小学校		福岡少年サポートセンター ・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員	パワーポイント		福岡市教育委員会	
			中学校			リーフレット			
			高校			啓発DVD			
			専門学校・大学			薬物サンプル			
令和5年度	インターネット、SNS等を活用した広報啓発活動		動画配信		少年課		県薬務課		※ DAP (薬物乱用防止広報車)
			県警HP						
			街頭ビジョン						
			DAP						
令和5年中	薬物乱用少年等の検挙補導	福岡市内	シンナー乱用少年		警察官				
			覚醒剤乱用少年						
			大麻乱用少年						
令和5年度	少年相談の受理 立ち直り支援活動	福岡市内	シンナー乱用関係		福岡少年サポートセンター ・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員		県薬務課	児童相談所	
			覚せい剤乱用関係				保護観察所		
			大麻乱用関係				医療機関		
			危険ドラッグ乱用関係						

令和4年度活動報告

所属	福岡県警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課		担当者	佐田、川元		電話番号	641-4141		内線	(3272、3273)	
全体の評価	街頭活動の強化により地域警察官を端緒とした検挙者は、全薬物事犯797人中、397人(うち覚醒剤216人、大麻174人)であった。大麻事犯の検挙者は、349人(前年比-49人)、うち若年層の割合は約73.1%と依然として高水準で推移しており、引き続き若年層に対する大麻乱用防止対策の強化が必要である。										
次年度改善事項	薬物乱用者及び薬物供給者の徹底検挙。 若年層に対する大麻乱用防止の広報啓発活動を継続し、薬物乱用防止啓発の推進を図る。										
対象者	市民全般										
年間活動報告											
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価		
			種別	人数			共催	協力			
通年	違法薬物乱用者及び密売事犯の検挙	県警本部及び県内各警察署	被疑者	797					検察庁	麻薬取締部と連携し、大麻栽培事件を検挙。門司税関と連携し、覚醒剤・大麻等密輸入事件を検挙。	
									麻薬取締部		
									門司税関		
									海上保安庁		
通年	薬物事犯者に対する再乱用防止に関する指導の実施	県警本部及び県内各警察署	乱用者	430			リーフレット等		検察庁	各警察署においてリーフレット等の配布を実施。	
通年	覚醒剤、大麻等薬物乱用防止講演の実施	県内大学	大学生	1,300	警察官		リーフレット パワーポイント 啓発DVD			年間を通して県内大学において薬乱講義を実施。	
通年	NO DRUG.KNOW DRUGイベントに対する支援・参加	キャナルシティ博多	市民全般	来訪者			リーフレット等	薬剤師会	市内大学	キャンペーンへの参加、支援の実施。	
									門司税関		

令和5年度活動計画

所属	福岡県警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課		担当者	佐田、川元	電話番号	641-4141	内線(3272、3273)		
全体の目標	違法薬物事犯、特に大麻乱用者及び供給者の徹底取締り								
活動内容	薬物乱用者及び薬物供給者の徹底検挙。 若年層に対する大麻乱用防止の広報啓発活動を継続し、薬物乱用防止啓発の推進を図る。								
対象者	市民全般								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	違法薬物乱用者及び密売事犯の検挙	県警本部及び県内各警察署	被疑者					検察庁	関係機関と連携した薬物事犯の徹底検挙
								麻薬取締部	
								門司税関	
								海上保安庁	
通年	薬物事犯者に対する再乱用防止に関する指導の実施	県警本部及び県内各警察署	乱用者			リーフレット等		検察庁	県警本部及び各警察署における指導の実施
通年	覚醒剤、大麻等薬物乱用防止講演の実施	県内大学	大学生		警察官	リーフレット パワーポイント 啓発DVD			薬乱防止講義の実施
通年	NO DRUG,KNOW DRUGイベントに対する支援・参加		市民全般			リーフレット等	薬剤師会	市内大学	イベントの支援・参加
								門司税関	

令和4年度活動報告

所属	一般社団法人 福岡市薬剤師会		担当者	吉村 宏	電話番号	092-714-4416	内線()		
全体の評価	少年の大麻の乱用は増加傾向にあり、10代20代が顕著である。薬物乱用防止の基本は「正しい知識」の普及である。小中学生、高校生だけでなく、大学生及び社会人に対しても、薬物乱用防止の啓発、特に「大麻」の正しい知識の普及に注力した。「向精神薬」や「一般用医薬品」の乱用防止の基本は「くすりの正しい使い方」であり、薬剤師職能として取り組んだ。								
次年度改善事項	福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会の三者主催で継続している「NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン」は、更に連携の輪を広げ市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。コロナ禍の状況を鑑みながら啓発イベント開催を3年ぶりに開催した。更にSNS, WEB配信等を活用し若年層に向けての情報発信も行った。今年度も、特に増加傾向にある「大麻」をメインテーマとし、継続開催している「福岡市薬物乱用防止街頭キャンペーン」を新天町で開催し、「政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン」の継続参加実施を目指す。学校、地域における講演活動の充実を図り、児童、生徒、学生及び市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。								
対象者	児童・生徒・学校関係者および一般市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
令和4年4月 ～令和5年3月	学校、地域における薬物乱用防止、喫煙・飲酒防止、くすり教育の講演活動。	学校、地域	児童、生徒、保護者、学校関係者、地域市民		学校薬剤師				
7月16日	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン(中止)	新天町サンドーム	一般市民		薬剤師		福岡市	<主催>福岡市薬剤師会	コロナ禍であったため、配布物は直接市民に取ってもらった
7月	薬物乱用防止啓発街頭キャンペーン(中止)	大学構内					福岡市薬剤師会	<主催>福岡市	*コロナ禍のため中止
7月1日～8月28日	NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン	・FM福岡から啓発コメント放送 ・会員薬局での啓発活動 ・会員薬局、学校、公民館その他協力団体での啓発ポスター掲示 ・協力団体が啓発ポスターをデジタルサイネージで放映 ・リアルビジョンでの啓発動画放映 ・啓発ラジオ番組制作・放送(FM福岡より)	一般市民					<主催>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会	3年ぶりのイベントとコロナ禍であったため、時間短縮にて開催をした。またラジオ番組は4つのパートに分けて大麻の害と相談先についてわかりやすく番組を作成した。
	NO DRUG, KNOW DRUG啓発イベント	・キャナルシティ博多	一般市民						
9月4日	NO DRUG, KNOW DRUG 啓発イベント特別番組	FM福岡ラジオ番組	一般市民		薬剤師			<主催>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会	

10月～11月	各区健康フェア（中止）		一般市民		薬剤師			各区保健福祉センター	*コロナ禍のため中止
1月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する図画ポスター」優秀作品の福岡市薬剤師会会長表彰		表彰人数 小学生4名 中学生3名					<主催>福岡市学校保健会	
研修会・協議会への参加									
6月5日	第73回指定都市学校保健協議会	熊本市	薬剤師	1人		WEB配信		日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会	
8月2日～3日	第20回九州地区健康教育研究大会	長崎市	学校薬剤師	2人		WEB配信		日本薬剤師会	
10月9日～10日	第55回日本薬剤師会学術大会	仙台市	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		日本薬剤師会	
11月10日～11日	令和4年度全国学校保健・安全研究大会	盛岡市	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		文科省、日本学校保健会	
11月10日	第72回全国学校薬剤師大会	盛岡市	学校薬剤師	中止				日本薬剤師会	*コロナ禍のため中止
11月17日～18日	令和4年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	和歌山市	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		文科省、日本学校保健会	*コロナ禍のため県外者はWEBのみ
2月	福岡市学校薬剤師研究大会	福岡市	薬剤師	全会員対象				福岡市薬剤師会	

令和5年度活動計画

所属	一般社団法人 福岡市薬剤師会		担当者	吉村 宏	電話番号	092-714-4416		
全体の目標	少年の大麻の乱用は増加傾向にあり、特に10代20代の増加が顕著である。薬物乱用防止の基本は「正しい知識」の普及である。小中学生、高校生だけでなく、大学生及び社会人に対しても、薬物乱用防止の啓発、特に「大麻」の正しい知識の普及に注力する。「向精神薬」や「一般用医薬品」の乱用防止の基本は「くすりの正しい使い方」であり、薬剤師職能として取り組む。							
活動内容	福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会の三者主催で継続している「NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン」は、更に連携の輪を広げ市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。 コロナ禍の状況を鑑みながら啓発イベント開催を目指し、更にSNS, WEB配信等を活用し若年層に向けての情報発信に努める。 今年度も、特に増加傾向にある「大麻」と乱用が青少年で行われている「一般用医薬品の乱用」の2つをメインテーマとする。また、「福岡市薬物乱用防止街頭キャンペーン」「政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン」の継続参加実施を目指す。学校、地域における講演活動の充実を図り、児童、生徒、学生及び市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。							
対象者	児童・生徒・学校関係者および一般市民							
年間活動計画								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関	
			種別	人数			共催	協力
令和5年4月 ～令和6年3月	学校、地域における薬物乱用防止、喫煙・飲酒防止、くすり教育の講演活動。	学校、地域	児童、生徒、保護者、学校関係者、地域市民		学校薬剤師			
7月7日	薬物乱用防止キャンペーン	福岡大学	大学生、教職員		薬剤師	福岡市	<主催>福岡市薬剤師会	
7月16日	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン	博多駅	一般市民		薬剤師	福岡市	<主催>福岡市薬剤師会	
7月1日～9月3日	NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン	・FM福岡から啓発コメント放送 ・会員薬局での啓発活動 ・会員薬局、学校、公民館その他協力団体での啓発ポスター掲示 ・協力団体で啓発ポスターをデジタルサイネージで放映 ・ソリアビジョンでの啓発動画放映 ・啓発YouTubeの制作・公開 ・啓発ラジオ番組の制作・放送	一般市民				<主催>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会	
	NO DRUG, KNOW DRUG啓発イベント	日程：9月3日(日) 会場：キャナルシティ博多	一般市民					
9月	NO DRUG, KNOW DRUGイベント総集編制作放送	FM福岡ラジオ番組	一般市民				<主催>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会	
10月～11月	各区健康フェア		一般市民		薬剤師		各区保健福祉センター	
1月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する図画ポスター」優秀作品の福岡市薬剤師会会長表彰		表彰人数 小学生3名 中学生3名				<主催>福岡市学校保健会	

研修会協議会への参加								
6月11日	第74回指定都市学校保健協議会	福岡市	学校薬剤師	9人		WEB配信		日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会
8月1日	第21回九州地区健康教育研究大会	熊本市	学校薬剤師	2人		現地開催		日本薬剤師会
9月17日～18日	第56回日本薬剤師会学術大会	和歌山市	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		日本薬剤師会
9月23日～24日	第82回九州山口薬学大会	長崎市	学校薬剤師	2人		現地開催		日本薬剤師会
10月12日～13日	令和5年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	広島市	学校薬剤師	2人		現地開催		文科省、日本学校保健会
10月26日～27日	令和5年度全国学校保健・安全研究大会	神戸市	学校薬剤師	2人		現地開催		文科省、日本学校保健会
10月26日～27日	第73回全国学校薬剤師大会	神戸市	学校薬剤師	2人		現地開催		日本薬剤師会
2月	第27回福岡市学校薬剤師研究大会	福岡市	薬剤師	全会員対象				福岡市薬剤師会

令和4年度活動報告

所属	福岡保護観察所		担当者	栗野		電話番号	092-761-6738(直通)		
全体の評価	薬物再乱用防止プログラムの確実な実施及び関係機関との連携強化に努めた。								
次年度改善事項	刑の一部執行猶予制度施行に伴い、薬物事犯者に年単位の保護観察期間が担保され、その間に対象者を地域支援機関に繋げて、保護観察所のプログラムを終了するという構想であったところ、実際は地域支援機関に繋がるケースはごくわずかであり、殆どの対象者を保護観察所が抱え込んでいる状態となっている。次年度は、地域支援機関から当庁プログラムに参加していただくなどして、一歩踏み込んだ連携の形を検討し、少しでも地域に繋げていきたい。また、地域支援機関に繋がらない対象者について、保護観察が終了した後の生活にソフトランディングできるような処遇の在り方についても検討していきたい。								
対象者	保護観察対象者								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物再乱用防止プログラム	福岡保護観察所	保護観察対象者	約1,115名(延べ)	保護観察官及び協力者(心理士)	薬物再乱用防止プログラムワークブック		ダルク、マック、医療機関、AA	簡易薬物検出検査及び認知行動療法を使ったグループワークで、対象者の再乱用防止指導を行った。
年5回	薬物専門保護司研修会(2回) 薬物事犯者引受人会(3回)	福岡保護観察所	保護司引受人等	保護司86名(延べ) 引受人等33名	心理士、精神保健福祉センター 医師、自助グループ、九州厚生局等	適宜作成		福岡市精神保健福祉センター、福岡県警少年サポートセンター等	保護司や引受人に対する薬物依存症者への理解促進に向けた研修を実施した。
通年	F-can(少年用大麻プログラム)への動機付け	福岡保護観察所	保護観察対象者(少年)	要件に該当する者	福岡県警少年サポートセンター			福岡県警少年サポートセンター	少年の大麻事案に対し、F-canへの動機付けを行った。
通年	ボイスブリッジプロジェクトのリクルート活動	福岡保護観察所	保護観察対象者	要件に該当する者	福岡県・福岡市精神保健福祉センター			福岡県・福岡市精神保健福祉センター	薬物事犯者に対し、ボイスブリッジプロジェクトへの参加を促した。

令和5年度活動計画

所属	福岡保護観察所		担当者	栗野		電話番号	092-761-6738(直通)		
全体の目標	前例踏襲を改め、実情に合わせてプログラムや会議・研修等、を整理し、業務の効率化を図った上で、関係機関とは一歩踏み込んだ連携強化に努め、対象者1人1人の特性に応じた、地域生活へのソフトランディング方法を検討する。								
活動内容	刑の一部執行猶予制度施行に伴い、薬物事犯者に年単位の保護観察期間が担保され、その間に対象者を地域支援機関に繋げて、保護観察所のプログラムを終了するという構想であったところ、実際は地域支援機関に繋がるケースはごくわずかであり、殆どの対象者を保護観察所が抱え込んでいる状態となっている。次年度は、地域支援機関から当庁プログラムに参加していただくなどして、一歩踏み込んだ連携の形を検討し、少しでも地域に繋げていきたい。また、地域支援機関に繋がらない対象者について、保護観察が終了した後の生活にソフトランディングできるような処遇の在り方についても検討していきたい。								
対象者	保護観察対象者								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物再乱用防止プログラム	福岡保護観察所	保護観察対象者	約1,115名(延べ)	保護観察官及び協力者(心理士)	薬物再乱用防止プログラムワークブック		ダルク、マック、医療機関、AA	より効率的で、地域支援機関に繋がりがやすいプログラム実施方法を検討する。
年2回程度	薬物専門保護司研修会 薬物事犯者引受人会	福岡保護観察所	保護司 引受人等		未定			未定	動画研修を取り入れたり、関係機関の家族教室を紹介する等、より効率的な方法を検討する。
通年	F-can(少年用大麻プログラム)への動機付け	福岡保護観察所	保護観察対象者(少年)	要件に該当する者	福岡県警少年サポートセンター			福岡県警少年サポートセンター	少年の大麻事案に対し、F-canへの動機付けを行う。
通年	ボイスブリッジプロジェクトのリクルート活動	福岡保護観察所	保護観察対象者	要件に該当する者	福岡県・福岡市精神保健福祉センター			福岡県・福岡市精神保健福祉センター	薬物事犯者に対し、ボイスブリッジプロジェクトへの参加を促す。

令和4年度活動報告

所属	こども未来局こども総合相談センター	担当者	江頭	電話番号	707-7572	内線()			
全体の評価	電話相談による援助を行い、専門性の強化や円滑な関係機関との連携に努めた。								
次年度改善事項	特になし								
対象者	概ね20歳までの子ども等やその家族、関係者、子どもに関係する各種団体等								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	相談業務	こども総合相談センター	電話相談	11,791件	臨床心理士 保健師 助産師 看護師 保育士		福岡少年サポートセンター		令和4年度は薬物を主訴とした電話相談はなかったが、保護者や本人等からの相談を幅広く受け付けている。
				(内、薬物を主訴とする相談は0件)					

令和5年度活動計画

所属	こども未来局こども総合相談センター	担当者	江頭	電話番号	707-7572	内線()			
全体の目標	電話相談による援助を行い、専門性強化や円滑な関係機関との連携に努める。								
活動内容	専門性の高い迅速な支援を行い、関係機関との連携に努める。								
対象者	概ね20歳までの子ども等やその家族、関係者、子どもに関係する各種団体等								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	相談業務	こども総合相談センター	電話相談		臨床心理士 保健師 助産師 看護師 保育士			福岡少年サポートセンター	関係機関との連携や相談支援の充実を図る

令和4年度活動報告

所属	こども未来局こども健全育成課		担当者	福永	電話番号	711-4188	内線(1764)	
全体の評価	令和4年度中に20歳となる者を対象とし、薬物乱用防止に係る啓発活動を行うことができた。								
次年度改善事項	イベントの場などを利用し、引き続き啓発を実施する。								
対象者	令和4年度中に20歳となる者								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
R5.1.9	成人の日記念行事式典の開会前に、薬物乱用防止動画を上映し、啓発を行った。	マリンメッセ福岡A館	20歳の方	3600人		啓発動画			

令和5年度活動計画

所属	こども未来局こども健全育成課	担当者	福永	電話番号	711-4188	内線(1764)		
全体の目標	青少年の薬物乱用防止を図る。								
活動内容	イベントの場などを利用し、啓発を実施する。								
対象者	令和5年度中に20歳となる者								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
R6.1.8	成人の日記念行事式典の開会前に、薬物乱用防止動画を上映し、啓発を行う。(予定)		20歳の方	未定		啓発動画			

令和4年度活動報告

各区企画振興課等(こども未来局こども健全育成課)									
所属	東区生涯学習推進課	担当者	鬼丸	電話番号	645-1042	内線(141-213)	
	博多区企画振興課	担当者	彌吉	電話番号	419-1043	内線(142-217)	
	中央区企画振興課	担当者	宮本	電話番号	718-1055	内線(143-416)	
	南区企画振興課	担当者	延壽	電話番号	559-5064	内線(144-236)	
	城南区企画振興課	担当者	金澤	電話番号	833-4065	内線(190-215)	
	早良区地域支援課	担当者	春瀬	電話番号	833-4403	内線(145-435)	
	西区企画振興課	担当者	石丸	電話番号	895-7033	内線(191-229)	
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
東区	6月4日	東区少年愛護パトロール員の委嘱式において、薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて講話を実施	なみきスクエア第1・2会議室	少年愛護パトロール	37	東警察署少年課長 下本高之氏		東区青少年育成連絡協議会	
				校区青少年育成連絡協議会等会長	3				
東区	10月1日	東区少年愛護パトロール員研修会において、講話と研修を実施	東保健所講堂	少年愛護パトロール	33	福岡市教育委員会指導部安全・安心推進課主査 篠崎俊之氏		東区青少年育成連絡協議会	
博多区	6月8日	博多区少年愛護パトロール員研修会において、少年非行について学習	博多区役所	博多区少年愛護パトロール員	28名	博多署少年課少年係長			少年愛護パトロール員の青少年健全育成に対する理解をより深める
	18名				福岡少年サポートセンター少年育成指導官				
	11月29日								
博多区	7月2日	博多区青少年健全育成・非行防止キャンペーンにおいて啓発活動を実施	博多駅前	博多保護区保護司会・青少年育成連合会等	約100名	-	博多保護区保護司会	博多署 博多駅前商店連合会 青少年育成連合会等	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う
中央区									

南区	7月中止 3月10日	南保護区保護司会主催の薬物乱用防止キャンペーンに協力し、街頭キャンペーンを行う。	大橋駅西口	南保護区保護司会、南区役所、南警察署	20人程度		リーフレット等啓発物	南区保護区保護司会(主催)	南警察署	
	5月19日	少年愛護パトロール員・見守る店合同研修において、薬物乱用を含む青少年の非行の現状と関わり方について講話を行い、薬物乱用防止啓発物の配布を行った。	城南区役所 大会議室	校区青育団体代表、少年愛護パトロール員	10	福岡少年サポートセンター 少年補導職員	リーフレット等啓発物		保健医療局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行った。
	7月14日	薬物乱用防止の啓発物の配布を行った。	城南区役所 大会議室	校区青育団体関係者、子ども会育成会団体関係者	23		リーフレット等啓発物		保健医療局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行った。
城南区	9月10日	中学生健全育成フォーラム「中学生サミット」の会場において、薬物乱用防止にかかる啓発物の配布を行った。	城南市民センター ホール	中学生、保護者、地域住民	164		リーフレット等啓発物		保健医療局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行った。
	11月29日	早良区少年愛護パトロール員研修会において、薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて講演等を実施。	早良市民センター	早良区少年愛護パトロール員	23	早良区非行防止対策推進員				
	7月	青少年の非行・被害防止強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用(公民館にグッズを設置し自由に持ち帰ってもらう等)し啓発活動を行った。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
西区	11月～1月	子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、各校区で街頭キャンペーンを実施、キャンペーングッズの配布を行った。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
	11月27日	西区青少年文化祭終了後、街頭キャンペーングッズの配布を行った。	西区役所及び姪浜駅付近	市民	約100 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		

令和5年度活動計画

所属		各区企画振興課等(こども未来局こども健全育成課)							
		東区生涯学習推進課	担当者	鬼丸	電話番号	645-1042	内線(141-213)	
所属		博多区企画振興課	担当者	彌吉	電話番号	419-1043	内線(142-217)	
		中央区企画振興課	担当者	宮本	電話番号	718-1055	内線(143-416)	
所属		南区企画振興課	担当者	延壽	電話番号	559-5064	内線(144-236)	
		城南区企画振興課	担当者	金澤	電話番号	833-4065	内線(190-215)	
所属		早良区地域支援課	担当者	春瀬	電話番号	833-4403	内線(145-435)	
		西区企画振興課	担当者	石丸	電話番号	895-7033	内線(191-229)	
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
東区	6月10日	東区少年愛護パトロール員の委嘱式において、薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて講話を実施	東保健所講堂	少年愛護パトロール員	27	東警察署少年課長下本高之氏		東区青少年育成連絡協議会	
				校区青少年育成連絡協議会等会長	5				
東区	10月7日	東区少年愛護パトロール員研修会において、講話と研修を実施	東区役所	少年愛護パトロール員	23	福岡市教育委員会指導部安全・安心推進課主査 池田武裕氏		東区青少年育成連絡協議会	
博多区	6月7日	博多区少年愛護パトロール員研修会において、少年非行について学習	博多区役所	博多区少年愛護パトロール員	27名	福岡少年サポートセンター少年育成指導官			少年愛護パトロール員の青少年健全育成に対する理解をより深める
	11月予定				-		未定		
	7月8日	博多区青少年健全育成・非行防止キャンペーンにおいて啓発活動を実施	博多駅前	博多保護区保護司会・青少年育成連合会等	約100名	-	博多保護区保護司会	博多署 博多駅商店連合会 青少年育成連合会等	
中央区	10月頃	少年愛護パトロール員を対象とした、研修会で薬物乱用の危険性をはじめとする、少年非行の現状と関わり方について講演会を行う。	中央区役所	愛護パト	40	未定		中央区青少年育成連絡会	
			区青育連	14					

南区	3月8日	南保護区保護司会主催の薬物乱用防止キャンペーンに協力し、街頭キャンペーンを行う。	大橋駅西口	南保護区保護司会、南区役所、南警察署	20人程度		リーフレット等啓発物	南区保護区保護司会(主催)	南警察署	
	7月12日	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。	城南区役所 大会議室	校区青育団体代表	11		リーフレット等啓発物		保健医療局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
	11月2月	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。		中学校区青育協	235		リーフレット等啓発物		保健医療局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
早良区	9~3月	早良区少年愛護パトロール員研修会において、薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて講演等を年1回程度実施。	早良市民センター	早良区少年愛護パトロール員	30	早良区非行防止対策推進員ほか				
西区	7月	青少年の非行・被害防止強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用し啓発活動を実施する。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
	11月~1月	子ども・若者支援強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用し啓発活動を実施する。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
	11月26日	西区青少年文化祭終了後、街頭キャンペーングッズの配布を行う。	西区役所及び姪浜駅付近	市民	約100 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		

令和4年度活動報告

所属	福岡市教育委員会 指導部 中学校教育課		担当者	黒松琢磨	電話番号	711-4639	内線(3722)	
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5次薬物乱用防止五か年戦略」を受けて、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の組織的・計画的な推進を図る。 ・指導者研修会(各校1名悉皆)は、大学准教授(医師)の講話や、県の薬務課より大麻乱用防止対策についての説明を計画。 ・教科及び生徒指導との連携を図る、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の計画。 								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会の開催 ・各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施 ・全小中学校における健康教育年間指導計画の作成と教育指導計画の位置づけ 								
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
6月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施状況調査	各学校	小学校	144校					全校作成・提出
			中学校	70校					
			高校	4校					
5~3月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室	各学校	小学校	144校	学校薬剤師、少年サポートセンター等				全校実施
			中学校	70校					
			高校	4校					
6月20日	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会	Zoom (配信場所:教育センター)	教職員	225人	九州大学准教授 眞崎義憲 薬務課 麻薬係係長 児玉臨				専門的な内容で各校の防止教育が推進できる内容で実施
6月~11月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会	各学校	教職員	市立学校職員	学校薬剤師、少年サポートセンター、学校管理職等				各学校の実態に応じた内容の充実

令和5年度活動計画

所属	福岡市教育委員会 指導部 中学校教育課		担当者	黒松琢磨	電話番号	711-4639	内線(3722)	
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5次薬物乱用防止五か年戦略」を受けて、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の組織的・計画的な推進を図る。 ・指導者研修会(各校1名悉皆)は、大学准教授(医師)の講話や、県の薬務課より大麻乱用防止対策についての説明を計画。 ・教科及び生徒指導との連携を図る、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の計画。 								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会の開催 ・各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施 ・全小中学校における健康教育年間指導計画の作成と教育指導計画の位置づけ 								
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
6月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施状況調査	各学校	小学校	145校					全校作成・提出
			中学校	70校					
			高校	4校					
5~3月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室	各学校	小学校	145校	学校薬剤師、少年サポートセンター等				全校実施
			中学校	70校					
			高校	4校					
6月19日	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会	Zoom (配信場所: 教育センター)	教職員	228人	九州大学准教授 眞崎義憲 薬務課主任技師 平井 祥一				専門的な内容で各校の防止教育が推進できる内容で実施
6月~11月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会	各学校	教職員	市立学校職員	学校薬剤師、少年サポートセンター、学校管理職等				各学校の実態に応じた内容の充実

令和4年度活動報告

所属	福岡市市民局防犯・交通安全課		担当者	近藤	電話番号	092-711-4054	内線(1772)	
全体の評価	市民に対する違法薬物乱用防止啓発活動の推進								
次年度改善事項	防犯の出前講座において薬物乱用防止の啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	出前講座	福岡市内	大学生及び 専門学生等	0	生活安全 専門員	パワーポ イント、DVD			危険ドラッグの危険性 及び後遺症等の啓発 を行う。

令和5年度活動計画

所属	福岡市市民局防犯・交通安全課		担当者	近藤	電話番号	092-711-4054	内線(1772)	
全体の評価	市民に対する違法薬物乱用防止啓発活動の推進								
活動内容	防犯の出前講座において薬物乱用防止の啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	出前講座	福岡市内	大学生及び 専門学生等		生活安全 専門員	パワーポ イント、DVD			危険ドラッグの危険性 及び後遺症等の啓発 を行う。

令和4年度活動報告

所属	各区保健福祉センター健康課(保健予防課)	担当者	辛川	電話番号	711-4377	内線(2062)	
全体の評価	薬物に関する相談は、本人やその家族からの相談が多く、病院等他機関の紹介を行った。								
次年度改善事項	引き続き関係機関と連携を図り、薬物乱用防止を推進していく。								
対象者	薬物依存等の問題を抱える当事者とその家族等								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物に関する相談業務	各区健康課 精神保健福祉係	窓口	2	保健師、 精神保健福祉士、 精神保健福祉職員				窓口より電話での相談が多く、大麻に関する相談が最も多かった。
			電話	15					

令和5年度活動計画

所属	各区保健福祉センター健康課(保健予防課)	担当者	辛川	電話番号	711-4377	内線(2062)		
全体の目標	引き続き薬物に関する問題を抱える当事者とその家族等に対する相談を実施し支援する。								
活動内容	相談業務(窓口、電話)								
対象者	薬物依存等の問題を抱える当事者とその家族等								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物に関する相談業務	各区健康課 精神保健福祉係	窓口		保健師、 精神保健福祉士、 精神保健福祉職員				
			電話						

令和4年度活動報告

所属	精神保健福祉センター		担当者	野村・牛島		電話番号	737-8825		内線	(192-6620)	
全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症専門相談では、新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、市民からの相談件数が増加した。これに対し関係機関と連携し、十分に支援を行えた。 ・新型コロナウイルス感染症の動向等に注視しながら、全ての教室やプログラムを実施することができた。また、依存症支援者連携会議も対面開催でき、円滑な関係機関との連携を図ることができた。 										
次年度改善事項	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症専門相談については、啓発活動などを含め事業内容を検討していく。 ・依存症に係る教室や連携会議については、引き続き市民への情報発信や幅広い関係機関との連携に努めていく。 										
対象者	薬物依存症当事者・家族、市民、行政・医療・保健・福祉・司法関係者等で薬物依存問題に関わる職員										
年間活動報告											
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資材	連携機関		評価		
			種別	人数			共催	協力			
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症専門電話相談 火・木 10時～13時 ・依存症専門医師面接相談 月4回(予約制) 	精神保健福祉センター	電話	64	精神科医 臨床心理士 精神保健福祉士				昨年よりも非常に多くの相談を受け、支援することができた。		
			面接	35							
5月～9月	薬物問題を抱える家族のための教室	あいれふ研修室	家族	21	精神保健福祉センター職員など	ワークブック			新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、全ての回を実施することができた。		
10月～2月	依存問題(アルコール・薬物)で悩む家族のための教室	あいれふ研修室	家族	40	精神保健福祉センター職員など	ワークブック			後期から、アルコールと薬物を統合した教室に変更。		
4月～3月	薬物依存症者回復支援プログラム	あいれふ研修室	当事者	73	精神保健福祉センター職員など	ワークブック			新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、全ての回を実施することができた。		
8月、2月	依存症支援者連携会議	あいれふ講堂	支援機関	56	-				令和元年度ぶりの対面開催で実施。		

令和5年度活動計画

所属	精神保健福祉センター		担当者	野村・牛島		電話番号	737-8825		内線	(192-6620)	
全体の目標	昨年度に引き続き、幅広い関係機関との連携や市民への情報発信に努める。										
活動内容	薬物依存問題に関する相談、依存問題で悩む家族のための教室、薬物依存者回復支援プログラム、依存症支援者連携会議										
対象者	薬物依存症当事者・家族、市民、行政・医療・保健・福祉・司法関係者等で薬物依存問題に関わる職員										
年間活動計画											
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		目標		
			種別	人数			共催	協力			
通年	・依存症専門電話相談 火・木 10時～13時 ・依存症専門医師面接相談 月4回(予約制)	精神保健福祉センター			精神科医 臨床心理士 精神保健福祉士				引き続き関係機関と連携を行い、市民の支援につながるよう努める。		
4月～2月	依存問題(アルコール・薬物等)で悩む家族のための教室(6回/クール×3)	あいれふ研修室			精神保健福祉センター職員など	ワークブック			状況に応じ、支援内容を充実していけるよう検討する。		
4月～3月	薬物依存症者回復支援プログラム(24回)	あいれふ研修室			精神保健福祉センター職員など	ワークブック			状況に応じ、支援内容を充実していけるよう検討する。		
8月、2月	依存症支援者連携会議	あいれふ講堂			—				関係団体の相互理解と連携強化を図る。		

令和4年度活動報告

所属	保健医療局健康医療部地域医療課		担当者	白水	電話番号	711-4264	内線	(2073)	
全体の評価	関係部署や地域住民との連携を図り、薬物乱用防止啓発をより充実させた。若年層に対し大麻等の危険性について重点的に啓発を行った。								
次年度改善事項	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベント等により広く市民への啓発を行うほか、昨年度から引き続き若年層への啓発を重点目標とし、大学関係者等との連携のもと、学生への啓発を行った。								
対象者	市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
4月	学校へのリーフレット配付による啓発		大学・短期大学	24校		リーフレット			新入学・新学期の時期に各学校で啓発の機会を設けた。
5月	学内LANIによる啓発メールの送信		大学・短期大学				市民局 市内大学・短期大学		福岡市内に所在する大学及び短期大学生の新入生に対し薬物に関する啓発を行った。
5～6月	不正大麻・けしの啓発 不正けしの抜去	各保健所 市内各地域	市民				各保健所他	各保健所	市内に自生していた5,007株を除去した。
6～7月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 街頭キャンペーン								新型コロナ感染症感染拡大防止に伴い中止。
キャンペーン期間 7/1～8/31	薬物乱用防止啓発NO DRUG, KNOW DRUG キャンペーン		市民、学生等	資材500部配布		オンラインイベント動画	市薬剤師会、FM福岡	市内大学、 県警察、福岡県等	多くの関係者・団体の協力や出演を得て、メディアによる広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行った。新型コロナ感染症拡大対策の上、イベントを現地にて開催した。
7月	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止 キャンペーン						主催：市薬剤師会		資材200部を配布した。
通年	・電子看板(大型ビジョン)の放映 ・薬物乱用防止啓発ポスターの配付、掲示 ・学校や関係課への啓発資材の提供 ・薬物乱用防止啓発ホームページ	本市庁舎内他	市民			動画 ポスター 啓発資材 ホームページ			広報啓発の充実を図った。

令和5年度活動計画

所属	保健医療局健康医療部地域医療課		担当者	白水	電話番号	711-4264	内線(2073)	
全体の目標	関係部署や地域住民との連携を図り、薬物乱用防止啓発をより充実させる。 若年層に対し大麻等の危険性について重点的に啓発を行う。								
活動内容	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベント等により広く市民への啓発を行うほか、昨年度から引き続き若年層への啓発を重点目標とし、大学関係者等との連携のもと、学生への啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
4月	学校へのリーフレット配付による啓発		大学・短期大学 専修学校			リーフレット			新入学・新学期の時期に各学校で啓発の機会を設ける。
5月	学内LANによる啓発メールの送信		大学・短期大学				市民局 市内大学・ 短期大学		福岡市内に所在する大学及び短期大学の新入生 に対し薬物に関する啓発を行う。
5月～6月	不正大麻・けしの啓発 不正けしの抜去	各保健所 市内各地域	市民				各保健所 他	各保健所	
6月～7月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 街頭キャンペーン		市民 (主に学生)			ティッシュ、 リーフレット		市薬剤師会、 保護司会、市 BBS会、該当 区保健所、大 学生	市内の大学において、大学生に向けた啓発資料の配布を行う。
キャンペーン期間 7月～8月	薬物乱用防止啓発 NO DRUG、KNOW DRUGキャンペーン		市民、学生等			ラジオ	市薬剤師 会、FM福 岡	市内大学、県 警察、福岡県 等	多くの関係団体の協賛・協力や参加を得て、さらにメディア による広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行う。
7月	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止 キャンペーン		市民			リーフレット等	主催)市薬 剤師会		
通年	・電子看板(大型ビジョン)の放映 ・薬物乱用防止啓発ポスターの配付、掲示 ・学校や関係課への啓発資料の提供 ・薬物乱用防止啓発ホームページ	本市庁舎内等	市民			動画、ポス ター 啓発資料、 ホームページ			広報啓発の充実を図る。